様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 670101	友好の森維持管理事業	主管課名	産業課
この事務事業の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		
	施策	連携と友好のきずなで築くまち	課長名	久野　秀夫
	基本事業	友好都市交流の推進		

(1)事業の概要

・友好提携を締結していた長野県木曽町三岳地区内にある「みよし市友好の森」の維持管理を行う
・森林保護、環境保全を目的に市民の手による間伐体験作業を行う
・友好の森を適正に管理、運営するために巡視員による管理を行う
・みよし市友好の森（規模、内容）
・用地(旧三岳村有林・旧国有林)　378,415㎡
・森林活用型施設
散策道、管理道路　6,000m、あずま屋　1棟、案内板、啓発用看板

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	管理用歩道下草刈り延長距離	m
②	境界下草刈り延長距離	m
③	定期巡視回数	回

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	維持管理・歩道修繕①設計、②入札、③委託契約、④施行、⑤監督、⑥検査（委託先：木曽森林組合） 巡視①巡視員と打合せ、②定期・臨時巡視（4～11月　計10回）、③計画書・報告書受理

26年度計画	□前年と同様 ■変更あり	変更内容	散策路の橋の付替えを行う（2箇所）

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

みよし市友好の森（長野県木曽町三岳地区）
市民

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	みよし市友好の森の面積	ha
②	人口	人
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

水源かん養林としての機能を維持する。

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	みよし市友好の森で適正に管理されている面積／総面積	%
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

自主的な交流活動をしてもらう。

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	自主的な交流活動をしていると答えた人の割合	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	m	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	②	m	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	③	回	8	8	8	8	8	8
(6)の対象指標	①	ha	38	38	38	38	38	38
	②	人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	7	7	7.5	7.5	7.5	7.5
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	02	目	02

(11)コスト

		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	933	931	2,379	1,074	1,091	1,091
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	933	931	2,379	1,074	1,091	1,091
人件費B		千円	803	790	790	790	790	790
	正職員従事時間×人数	時間×人	71 × 3	71 × 3	71 × 3	71 × 3	71 × 3	71 × 3
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0			
その他費用C		千円						
トータルコストA+B+C		千円	1,736	1,721	3,169	1,864	1,881	1,881
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/ ha	46	45	83	49	50	50
	②	千円/ 人	0	0	0	0	0	0
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	670101	友好の森維持管理事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？

平成13年度　から

(2)この事務事業を開始したきっかけは？

愛知用水が市発展の源であることに感謝し、また上流水源地の環境保全は下流部の責務との考えから、平成12年に友好提携先(当時)の木曽町三岳地区(旧三岳村)の山林を取得した。

(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？

□変化していない
■変化している → 変化した内容：環境問題への取り組みは年々重要視されてきている。

(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？

・課題
みよし市友好の森が遠隔地に立地するので、管理や対応を迅速にできない。
・住民･議会等からの意見
散策路が荒廃し、利用者がほとんどいないと聞くが事実か。

3 評価（SEE）

目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	なし
			この事務を行う根拠又は理由	上流部の森が水源涵養林としての機能を果たせるようにすることは、その恩恵を受けている下流部の責務である。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	みよし市が所有する友好の森を十分に維持管理している。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → □庁内事業 / ■庁外事業 □ない	類似事業名	地域民有林を対象とした長野県の治山事業による除間伐事業。
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある → □現状で適正 / □検討が必要 □ない ■受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）

(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	↓　削減	事業費の方向性	↓　減額	成果の方向性	→　維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						